

受講申込書 (事前申込用)

※コピー可

※ご記入いただいた情報は、個人情報に関する法律に基づき管理し、公開講座、講演会以外の目的には使用しません。

ふりがな				年齢	歳
氏名				性別	男 女
学生の場合	学校名	高校			年
		大学			
現住所 連絡先	〒 —				
	電話 —				
職業	会社員 ・ 公務員 ・ 教員 ・ 自由業 ・ 自営業 ・ 大学生 ・ 高校生 ・ 主婦 ・ 無職 ・ その他				
希望受講日に○を記入		申込締切日(必着)	受講料(高校生・東大生は無料)		合計受講料 ¥
9月20日(土)		9月10日(水)	1,000円		
9月27日(土)		9月17日(水)	1,000円		
10月4日(土)		9月24日(水)	1,000円		
10月11日(土)		10月1日(水)	1,000円		
10月18日(土)		10月8日(水)	1,000円		
全講義(5日間)		9月10日(水)	4,000円		

※記入漏れのないようご確認願います。

※締切日に間に合わない場合は、当日申込みをご利用ください。ただし、満員の際はご容赦ください。

<お届けする払込用紙で、コンビニ・郵便局で簡単にお支払いができます。>

1. ■郵送・FAX

「受講申込書」(この用紙・コピーでも可)に必要事項をご記入の上、下記申込み先へ郵送またはFAXでお送りください。

■インターネット

東京大学の公開講座のページにアクセスし、所定の手順に従ってお申込みください。
(東京大学ホームページ→社会人・一般の方へ→公開講座・講演会)

■携帯電話

QRコード対応機種の場合は、下のQRコードを読み取り、所定の手順に従ってお申込みください。直接URLを入力してもアクセスできます。
URL: <http://utnav.jp/>

(8月11日受付開始)

高校生、東大生は1.で申込み完了です。
当日学生証をお持ちください。

2. 受講券と一体となった払込用紙を、ご記入いただいた住所に郵送します。(お申込みから1~2週間程度でお手元に届きます。)

3. お手元に届いた払込用紙にて、お近くのコンビニまたは郵便局から受講料をお支払いください。(受講日の2日前までにお支払いください。)

4. 当日は、払込用紙の受領書を受講券の裏に貼り付けて、会場へ持参してください。

※紛失など不都合がある場合は、当日受付(ヘルプデスク)にお申し出ください。



●申込み先

〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学本部広報グループ内
(財)東京大学総合研究会

FAX: 03-3816-3913 HP: http://www.u-tokyo.ac.jp/gen03/d04_01_j.html

(東京大学ホームページ→社会人・一般の方へ→公開講座・講演会)

お問い合わせ 03-3815-8345 (直通)

東京大学公開講座受講のご案内

〈講義当日〉

- ・講義当日は受付が大変混み合いますので、お早めにお越しください。(開場：12時30分予定) 当日会場にて「講義要項」を配付します。
- ・講義時間は多少延長・短縮されることがありますので、あらかじめご了承ください。

〈キャンセル・返金〉

お申込み後のキャンセルはご遠慮ください。
原則として払込み後の返金はできませんので、あらかじめご了承ください。

〈修了証書〉

全講義一括で受講を申し込まれた方が3日以上出席された場合は、ご希望により修了証書を差し上げます。詳細は講義当日配付の「講義要項」でご確認下さい。

〈よくある質問〉

・難易度はどのくらいですか？

公開講座の受講者は、初心者から専門知識を持つ方まで、様々です。
講義内容は、全体的には初心者から多少専門知識を有する方向けの内容となりますが、各講師の最先端の研究内容を連携させ構成されています。従って、専門的な知識を持つ方に対する内容も含まれます。

・受講資格・試験などがありますか？

ありません。どなたでも参加できます。

・受講者の年齢層は？

近年50歳以下とそれ以上の方々の割合は同等となっており、若い方々も多数参加しています。

東京大学への経路

■地下鉄利用

[本郷三丁目] 丸ノ内線・大江戸線
[湯島・根津] 千代田線
[東大前] 南北線

■バス利用

【御茶ノ水駅】
茶51駒込駅行又は東43荒川土手行→
東大正門前下車
学07東大構内行→東大構内バス停車

【上野駅及び御徒町駅】
都02大塚駅行又は上69小滝橋車庫前行→本郷三丁目駅下車(御徒町駅のみ)
学01東大構内行→東大構内バス停車



第109回 平成20年秋季

東京大学 公開講座

成熟

「落ち着き」が生む力

1

9/20(土)

現代社会における成熟と人間

開講の挨拶

13:30～13:50 小宮山 宏 東京大学総長

成熟の構図

13:50～14:20 金子 元久 企画委員長／教育学研究科長

福祉国家の変容と「成熟」：大人になることの難しい社会と教育

14:40～15:30 荻谷 剛彦 教育学研究科 教授

経済の成熟と社会保障

15:50～16:40 岩本 康志 経済学研究科 教授

2

9/27(土)

「成熟」の諸相

動物の成熟と行動

13:30～14:20 森 裕司 農学生命科学研究科 教授

民主主義と成熟 メディア社会

14:40～15:30 林 香里 情報学環 准教授

大学・社会の成熟と学生のこころの問題

15:50～16:40 佐々木 司 学生相談ネットワーク本部
精神保健支援室長

3

10/4(土)

大人への成熟

自己の発達・成長-乳児から大人への変遷

13:30～14:20 開 一夫 情報学環 准教授

「働くこと」と成熟

14:40～15:30 玄田 有史 社会科学研究所 教授

配偶者選択と成熟

15:50～16:40 井原 泰雄 理学系研究科 講師

4

10/11(土)

社会の環境と成熟

農が再編する成熟社会のランドスケープ

13:30～14:20 横張 真 新領域創成科学研究科 教授

成熟社会に欠かせないレアメタル

14:40～15:30 岡部 徹 生産技術研究所 准教授

少年非行と法

15:50～16:40 川出 敏裕 法学政治学研究科 教授

5

10/18(土)

文化の成熟

歌舞伎-女形の成熟

13:30～14:20 古井戸 秀夫 人文社会系研究科 教授

閉塞と成熟-中国明代の詩と小説

14:40～15:30 大木 康 東洋文化研究所 教授

成熟社会のまちづくり

15:50～16:40 西村 幸夫 先端科学技術研究センター 教授

閉講の挨拶

16:40～16:50 濱田 純一 東京大学理事・副学長

総合知を示す。

※ やむを得ない事情によりプログラムを変更する場合がございます。ご了承ください。

お問い合わせ Eメール:kouhou@ml.adm.u-tokyo.ac.jp 電話:03-3815-8345

http://www.u-tokyo.ac.jp/gen03/d04_01_j.html

(東京大学ホームページ-社会人-一般の方へ-公開講座・講演会)

〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学 本部広報グループ内 財団法人 東京大学総合研究会

(財)東京大学総合研究会



—— 開講にあたって ——



誕生—成長—成熟—衰退・死。このサイクルは人間にあてはまるだけでなく、自然に関わるさまざまな現象に、あるいは社会そのものにもあてはまります。そのサイクルを理解することは、人間や自然、社会を考えるうえで重要なことは言うまでもありません。

そのサイクルの中で、もっとも我々の注目をひいてきたのは誕生と成長でしょう。人の誕生はもっとも劇的で、成長は希望に満ちています。あるいは社会や経済の成長は人に希望を与えてきました。そしていま注目されつつあるのは「老化」すなわち衰退の局面です。

しかしその反面で「成熟」にはあまり注目が払われてきませんでした。それは成熟が、ほかの段階と比べると、劇的な変化の少ない、いわば普通の状態であるにとらえられるからでしょう。

しかし実は成熟の中にこそ、新しい発想を得るキーがあるのではないのでしょうか。たしかに成熟は成長の結果であり、一方で衰退の始めでもあります。しかしその二つのはざまにある成熟の生む一つの落ち着きが、固有の力を生じさせ、そしてそれこそがやがて生じる全く新しいサイクルを形成する基盤を作るのです。他方でそれは、真の成熟に達することこそ、実はきわめて困難な課題であることをも示しています。

成熟とは何か、それが何を可能にするのか、そしてそれがなぜ難しいのか。この公開講座では、こうした視点から、人間や社会・文化、自然のあり方とその変化を考えてみたいと思います。

平成20年8月

第109回東京大学公開講座企画委員会

委員長 **金子 元久**

(東京大学大学院教育学研究科長)

講師講義内容の概要

9月20日(土) 現代社会における成熟と人間

13:50～14:20

成熟の構図

教育学研究科長 **金子 元久**



誕生—成長—成熟—衰退・死。このサイクルの中で、「成熟」にはあまり注目が払われてこなかった。それは成熟が、ほかの段階と比べると、劇的な変化の少ない、いわば普通の状態であるにとらえられたからである。しかし、成熟の中にこそ、新しい発想を得るキーがあるのではないか。成熟とは何か、それが何を可能にするのか、そしてそれがなぜ難しいのか。こうした視点から成熟の構図について考えてみる。

14:40～15:30

福祉国家の変容と「成熟」： 大人になることの難しい社会と教育

教育学研究科・教授 **苅谷 剛彦**



現代社会の問題として、「大人になることの難しさ」がある。豊かな社会、多様な価値観を許容する社会の出現によって、共通の目標が喪失したこと、共通の大人のモデルが見つげにくくなったこと、大人と大人以前の境界があいまいになったことなどが原因の一端と考えられる。社会・経済の成長・発展(デベロップメント)と個人の成長・発達(デベロップメント)との予定調和を前提できた時代が終わりを告げようとしている。この講義では、社会・経済の変化、教育改革といった、マクロな変化に着目しつつ、大人になることの難しい社会がどうして出現したのかの解明をめざす。

15:50～16:40

経済の成熟と社会保障

経済学研究科・教授 **岩本 康志**



少子化現象により、日本の人口は減少に転じようとしている。高度成長を経て成熟化した日本経済は、人口増加の終焉によって、あらたな成熟化を迎えようとしている。この変化は、日本人の生活水準にどのような影響を与えるのか。また、高齢者の増加にともなって医療・介護サービスの需要が増大する一方で、社会保障費用をおもに負担する現役世代の人口が減少していく環境で、社会保障制度をどのように運営していくのか。

9月27日(土) 「成熟」の諸相

13:30～14:20

動物の成熟と行動

農学生命科学研究科・教授 森 裕司

哺乳類には様々な社会構造と配偶システムがあり、それに応じて種に特異的な行動様式が発達します。一夫一妻制をとる動物は少なく哺乳類全体の5%以下と考えられていますが、犬(イヌ科動物)もまた私たちと同じように(人が本当にそうかの議論は別として)特定の伴侶と継続するパートナーシップを築く例外的な動物のひとつです。ここでは私たちにも身近な存在である犬を例にとり、体と心の成熟過程を追ってみることにしましょう。



14:40～15:30

民主主義と成熟 メディア社会

情報学環・准教授 林 香里

21世紀に入り、異質な他者を承認しながら共生をめざす成熟した民主主義社会を支えていくためには、多様な情報、および熟議に鍛えられた知識を社会全体で共有していく必要がある。そこでは、「公共知」を構築する卓越したジャーナリズムの役割は不可欠であろう。ところが、インターネットなどの情報テクノロジーが普及し、本格的なメディア社会が到来したにもかかわらず、ジャーナリズムという営為は皮肉にも成熟したとは言いがたい状況にあるのではないだろうか。

本講義では、我々が情報化社会のなかで、どのようなジャーナリズムのあり方を構想してゆけばよいか、について問題提起をしていきたい。



15:50～16:40

大学・社会の成熟と学生のこころの問題

学生相談ネットワーク本部・精神保健支援室長 佐々木 司

1990年代以後、経済・社会構造の変化とともに、大学設置基準の改訂・大学院重点化、国立大学の国立大学法人化などを経て、大学は大きく変化してきたが、それらは、学生の置かれた状況とともにその精神保健にも影響を及ぼしている。本講義では、学内の保健センター等での臨床経験とデータをもとに、近年の大学生、大学院生がどのような問題と不安を抱え、それがメンタルの問題にどのように影響している可能性があるかを考察する。



10月4日(土) 大人への成熟

13:30～14:20

自己の発達・成長－乳児から大人への変遷

情報学環・准教授 開 一夫

我々は「自己」と「他者」をどのように弁別・理解しているのだろうか？自己概念の発達と脳機能の発達とはどのような関係があるのか？この講義では、「自己」と「他者」の発達の理解を目指して我々がやっている発達認知神経科学的アプローチについて紹介する。具体的には、自己像認知を題材にして、乳児・幼児・成人を対象に行った行動実験と近赤外分光法を用いた脳活動計測実験について最新の研究成果について述べる。



14:40～15:30

「働くこと」と成熟

社会科学研究所・教授 玄田 有史

ニートを含め、若者の多くは「働くことの意味」が見出せないという。働くことを含め、人とかがかりあうことに不安を感じている。

そんな今の日本社会は、成熟な社会といえるのだろうか。若者の多くが希望を失っている背景には何があるのだろうか。仕事と若者の関係に注目しながら、現代社会における真の意味での成熟とは何かを考える。



15:50～16:40

配偶者選択と成熟

理学系研究科・講師 井原 泰雄

動物は交配する相手をランダムに決めてはいない。ある個体が、特定の性質をもった異性と交配しやすいとき、配偶者選択が行われていると言う。配偶者選択は性淘汰の原動力となり、生物の進化において重要な役割を果たしてきた。ヒトを含む様々な動物で、配偶者選択がどのような基準に基づいて行われているのか、これまでの研究例を紹介する。特に、配偶者選択における「好み」が、個体の成熟とともに獲得される場合に注目する。



10月11日(土) 社会の環境と成熟

13:30~14:20

農が再編する成熟社会のランドスケープ

新領域創成科学研究科・教授 横張 真

グローバルな食料・環境問題の深刻化や成長社会の終焉とともに、人々のライフスタイルの変革がはじまっている。その一端は、都市や郊外における、農をめぐるランドスケープの変容にも見て取ることができる。仕事と余暇の壁を越え、農地や里山、オープンスペースを舞台に繰り広げられる様々な営みが、都市や郊外の姿を変え始めている。ここでは、そうした営みの諸相を通じ、農が再編する成熟社会のランドスケープの未来を展望したい。



14:40~15:30

成熟社会に欠かせないレアメタル

生産技術研究所・准教授 岡部 徹

社会が成熟すると、高性能の電子機器が数多く使われるようになる。日常生活では直接目にするものは少ないが、電子機器や自動車には多くのレアメタルが使われており、我々は多種多様なレアメタルに囲まれて生活している。いまやレアメタル抜きには、豊かな生活が成り立たない。また、成熟社会における省エネにもレアメタルは不可欠である。しかし一方で、レアメタルの採掘や製造に伴い、海外では環境破壊が進んでいる。本講義では、レアメタルの現状と課題について概説し、レアメタルに対する誤解や偏見、さらには、日本では知ることが出来ない裏の問題について紹介する。



15:50~16:40

少年非行と法

法学政治学研究所・教授 川出 敏裕

少年が犯罪を行った場合には、成人とは異なり、少年法に基づいて手続が進められ処分が決定されます。これは、成人と比べて、少年は心身ともに未成熟な存在であることを前提とするものです。しかし、近年におけるいくつかの重大な少年犯罪の発生を契機として、成人と同様に刑罰を科す方向に少年法が改正されました。本講演では、改正の背景の紹介を通じて、少年非行の現状と少年法の基本的な考え方についてお話をしたいと思います。



10月18日(土) 文化の成熟

13:30~14:20

歌舞伎－女形の成熟

人文社会系研究所・教授 古井戸 秀夫

歌舞伎の女形は成熟とともに、「娘」に象徴される、より若い女性を表現しようとしてきました。数え年で13歳、14歳から17歳、18歳の娘たち、成熟した男性俳優である歌舞伎の女形は、まだ幼さの残る少女たちを、どのように表現しようとしてきたのでしょうか。成熟した女優には表現することのできない世界、歌舞伎の女形の成熟した表現について考えてみることにしましょう。



14:40~15:30

閉塞と成熟－中国明代の詩と小説

東洋文化研究所・教授 大木 康

中国文学の精華ともいえる古典詩は、唐代あるいは宋代において頂点をきわめてしまったのではないかと。明代の詩人は、あたかも今日の文学者のような閉塞感を抱いていたとされる。だが、出版文化の隆盛を背景に、詩が明代に空前の普及を見せたことは、成熟の一つの形であり、さらには『三国志演義』『水滸伝』などの通俗小説が生み出されたのが、この時代である。日本の江戸文学にも深い影響を与えた中国明代の文学作品を材料に、閉塞と成熟について考えてみたい。



15:50~16:40

成熟社会のまちづくり

先端科学技術研究センター・教授 西村 幸夫

成長社会から成熟社会に移行して、まちづくりの目標もそこへ向かう合意形成のありかたもおおしく変化しつつあります。

本講義では、欧州社会の実情を参考にしつつ、日本におけるまちづくりの変化の現状をふりかえり、その背後に存在する成熟社会の目指すべき方向を考えます。

